

## 高度な技術とフロンティア・スピリッツで 未来に挑戦する東洋アルミ：エコステージを導入

東洋アルミ株式会社（本社：埼玉県さいたま市 石井良平社長 創業昭和44年 従業員80名 <http://www.toyoalm.co.jp/>）は、福島県白河市に最新の設備と技術を備えた白河総合工場を、また海外には、香港東洋アルミ有限公司、さらに中国中山市に中山東洋鋁業製造廠と中国第二工場を構える『アルミニウム管・棒の総合メーカー』です。OA事務機・デジタル光学機器を中心に、あらゆる用途に応じたアルミニウム合金管・棒を生産し、全国・世界にそのシェアを拡大し続けています。平成13年にISO9002、平成15年にはISO9001を取得するなど顧客満足度と、経営品質の向上に努めてきました。

2005年9月にエコステージ1を導入し、現在、環境経営システムを構築中の白河総合工場は、アルミニウム合金管を月産300トン生産する工場です。顧問（前取締役 企画室長）佐藤茂寿氏にエコステージ導入の目的と、取り組み状況などについてお聞きしました。

### <エコステージ導入のきっかけと、目的をお教え下さい。>

佐藤氏：導入のきっかけとなったのは、最近特に環境マネジメントシステムの構築を求めるお取引先様が多くなってきたことです。またこのシステムの構築により自社の経営改善が図れることも期待していました。弊社はISO9001を取得しているので当初はISO14001の取得を計画していたのですが、エコステージの自社の体力に合わせてステージアップできることや、認証取得費用がISO14001と比べて安いことが魅力でした。

### <現時点で、エコステージ導入による変化や、具体的な効果はございましたか？>

佐藤氏：導入による効果は何と云っても、社員ひとりひとりの環境に対する意識アップがはっきり見えるようになったこと。そして、短期・中期の『環境目的・目標』を設定することで目指すものが具体的にになり、工場の全体行動として認識され、実施されるようになったことですね。

### <活動の中で、ご苦労された点・難しかった点などがございましたか？>

佐藤氏：従来からもやっていたことですが、今回改めて、法的要求事項の特定や、法規制・基準に対する調査・分析などを県や市そして、工業団地組合や、お取引先のグリーン調達要求事項などかなり広範囲に実施しました。これがかなりのロードでした。

### <それでは、今後の取り組み計画をお聞かせ下さい。>

佐藤氏：アルミニウムは、産業のあらゆる分野で広く用いられています。その上、リサイクルに適した省資源・省エネルギー対応の環境に優しい金属です。これからは世界の未来を創造する金属として益々の発展が期待されます。こんな優れた金属を扱っている私どもは、更に地球環境の保全を意識した活動に力を入れて行きます。そのためにも、エコステージ2以上もしくはISO14001の認証取得も視野に、環境に配慮した取り組みを継続していきます。

### <石井社長による エコステージ宣言 キックオフミーティングにて>



### <白河総合工場>

